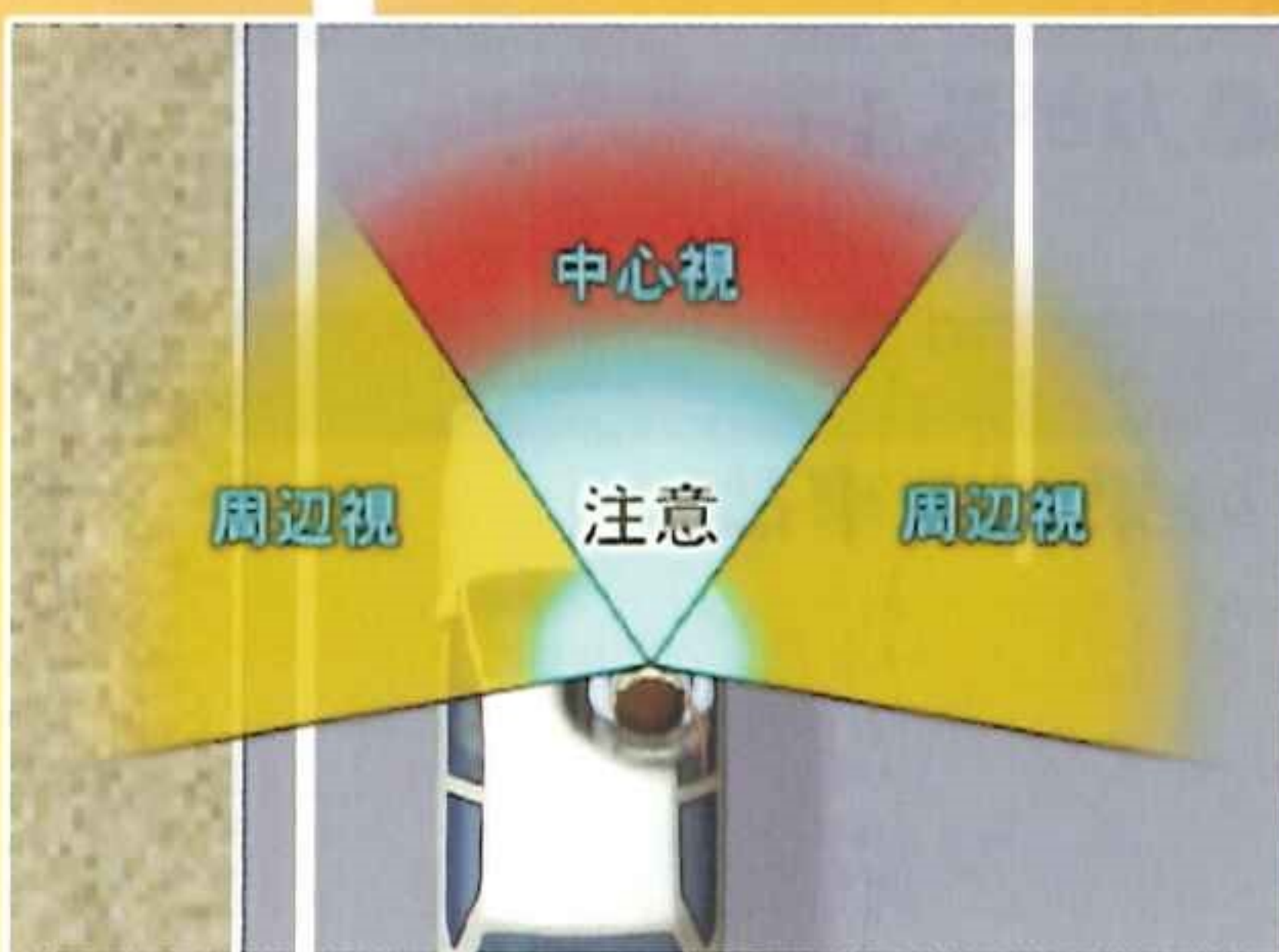
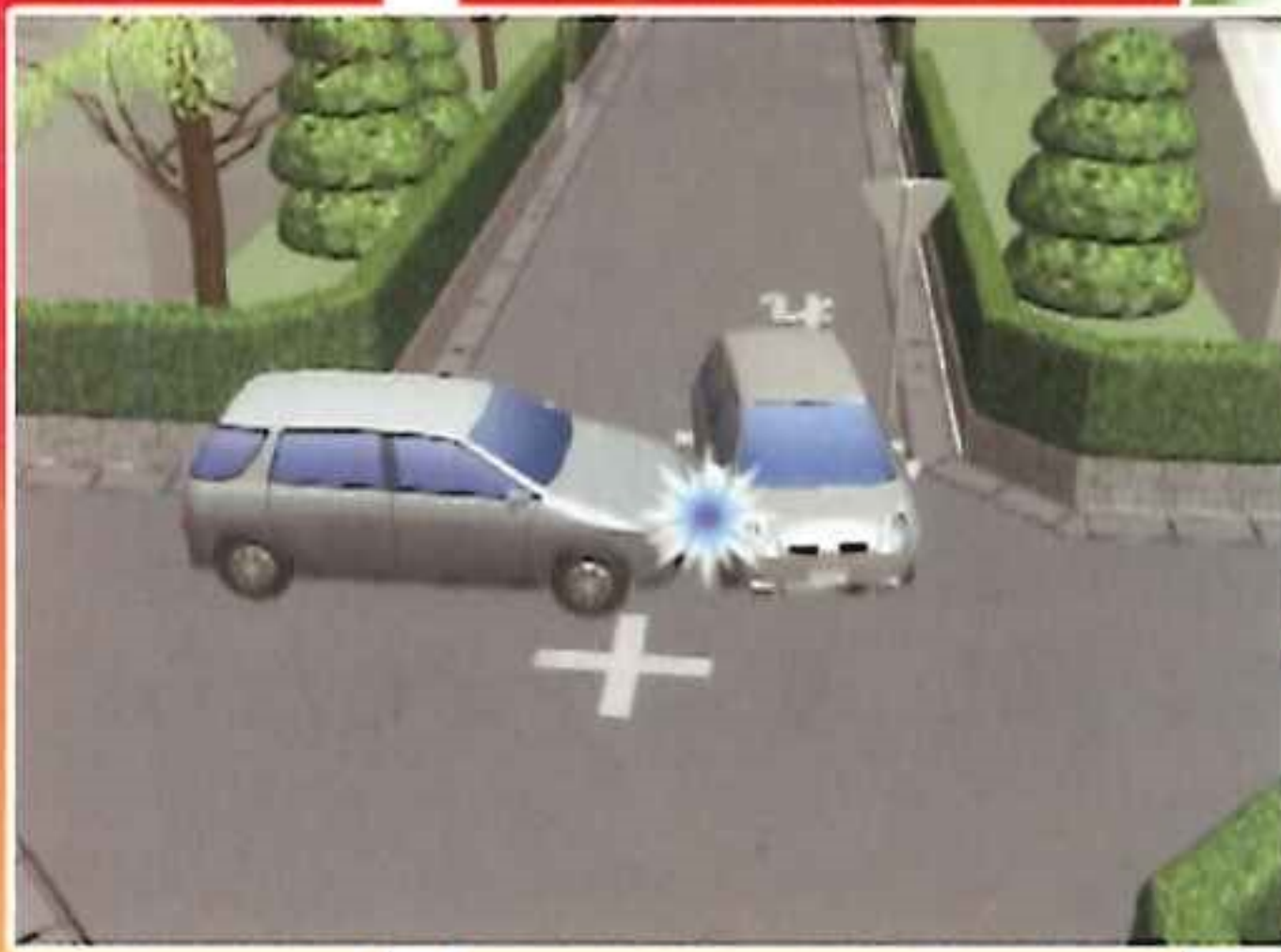
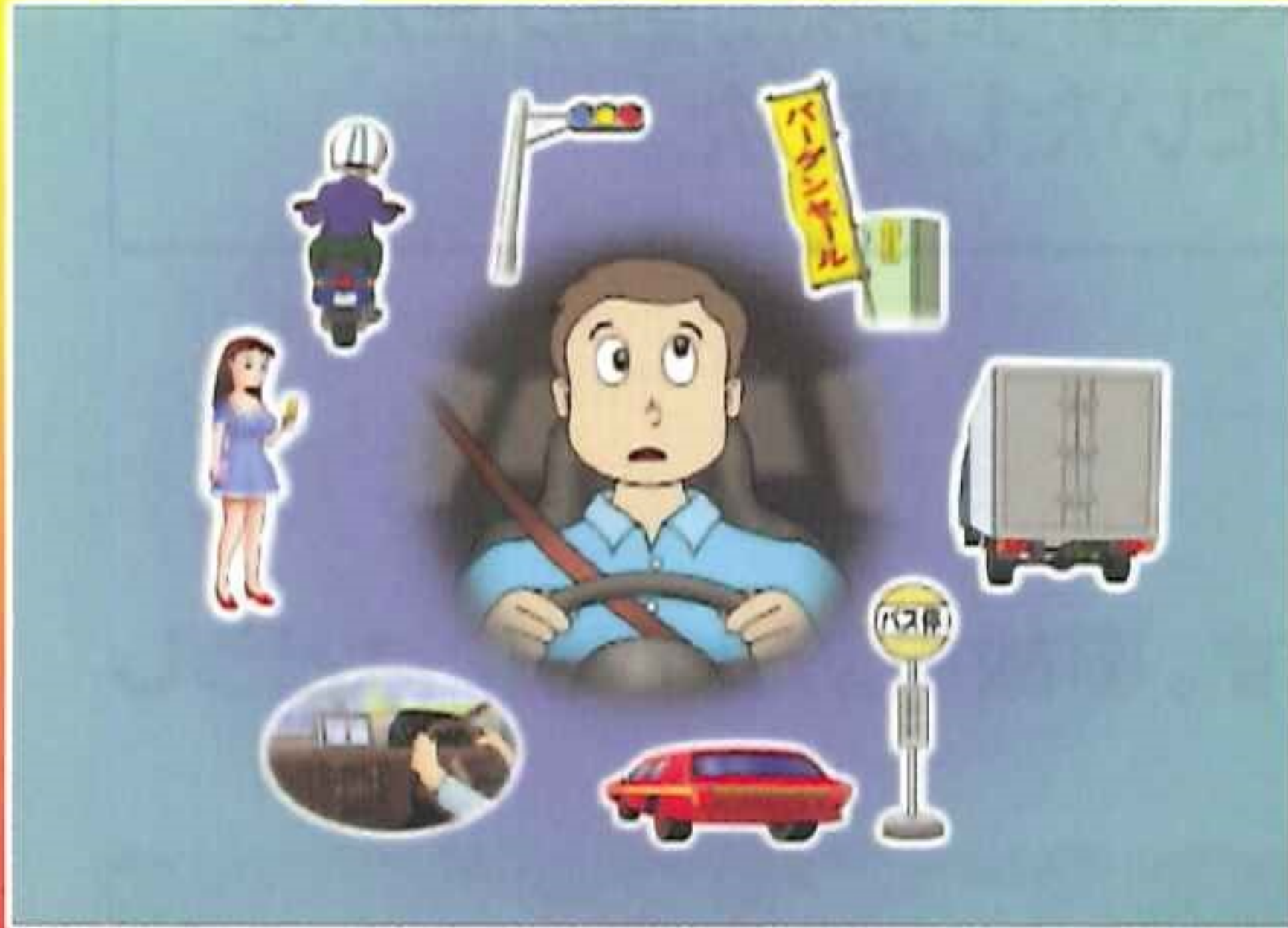


推薦(財)全日本交通安全協会

検証

不注意、思い込み運転が 事故を呼ぶ!



指導・協力

東京成徳大学 人文学部

福祉心理学科 教授 海保博之

(映) 有限会社 博映商事
TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220
【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp

検証 不注意、思い込み運転が 事故を呼ぶ!

制作意図

交通事故の大半は不注意や思い込みが原因で起きています。これらのミスをどうやって防げるか、4つの事故事例を検証、イラストやCG,実験を交え、誰にでも分かりやすく原因と対策を描いています。なお制作にあたり、なるべく専門的な用語の使用を避け、できる限り多くの方に理解していただけるような構成にいたしました。

映画の構成

プロローグ

☆交通事故の大半は、不注意や思い込みが原因で発生しています。事故を防ぐためにはどうしたらよいか4つの事故事例を検証していきます。

■ 事故事例1「動静不注視による事故」

対向車に注意、自転車に接触(対向車と自転車に気付いていたが、自転車に危険はないと判断、対向車に注意が集中)

- ・原因と対策を実験を交え検証する

■ 事故事例2「脇見運転による事故」

信号のある交差点での追突事故(知らない土地へのドライブでレストラン探し、更に子どもたちの言い争いで運転に集中できず)

- ・原因と対策を探る

■ 事故事例3「漫然運転による事故」

直線道路での歩行者の飛び出し(休みなしの長時間運転で注意力が低下)

- ・原因と対策を探る

■ 事故事例4「思い込みによる事故」

信号の無い交差点での出会い頭事故(お互いが「だろう運転」の果ての事故)

- ・原因と対策を探る

エピローグ

☆注意力を高めるためには～総合的な対策

- ・注意力を削ぐものを排除する……心の動揺、体調、疲労、眠気。
- ・声を出しての安全確認など……今、何に注意を向けるのか、確認する。

注意・不注意は背中合わせ。人間の心には危険が潜んでいる事を認識して、いつでもどこでも安全確認することが大切なのです。